慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	Japanische industriearbeit, von E.A. Heber
Sub Title	
Author	
Publisher	三田学会
Publication year	1913
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.7, No.2 (1913. 4) ,p.414(198)-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	批評と紹介
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19130422-0196

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

口と生産、生産と保護政策、生産と土地所有權の順序を以て著者獨創の見地より此等の重要なる諸關係に就き論述す。第四編は又之を分ちて第一章國有地の收入と手數料、租稅の壓迫、租稅の調節及び第四章公債とす。其内容の詳細及び著者所論の批評に至りては紙面の都合もあれば、之を他日に讓るべきも、本書中にて看るに足るべきものは第三編にして、第四編國家の收入は著書が財政家なりしにも拘はらず、其内容多少貧弱なるが如く思はる。

譯文は處々に瑕瑾なきにしもあらざれども、概して流暢と云ふべく、マーシャルの原論の文章程鍛練せるものにあらずと雖も、マーシャルよりも慥かに讀易き書物なり。殊に獨逸流の長き章句を用ゆることを避けたるを以て、論旨の明快を助くること尠らず。

Japanische Industriearbeit, Von E. A. Heber

千九百十二年ミーナー市發行

本書はキール大學教授ハームス氏の編纂に係る世界經濟問題叢書の第七冊なり。著者は曾て技師として、三年間我國に滯在せしことありて、多少我國情及び日本語に通ぜる人なり。著書が本書を起稿するに至りたる目的は、日本國民の發達は勞働能力の發達に俟たざるべからざれば、此問題は重要なるにも拘はらず、日本及び歐米の新聞雜誌に散見する論文等は少からざれ

ども、此問題に關する纏まりたる著述としては一もなきを以て、此等の資料を用ゐ、之に自己の經驗と見聞とを加へて、聊か此問題を研究せんと爲すに在り。

本書は分ちて第一章維新前の勞働組織、第二章明治年代に於ける資本と勞働、第三章大工業と勞働、第四章家内勞働、第五章日本特有の工藝勞働、第六章日本職工の勞働能力、第七章勞働階級の生活と營養、第八章勞働階級に關する人口及其他の問題、第九章教育と修業勞働保險と勞働者の保護、第十章回顧と豫想とす。

本書は勿論獨創の研究の成果に非ずして、何等新しき貢獻として看るに足るものなきが如し。唯引用せる資料は比較的正確なるものを選べるの結果、記述に差したる誤謬なし。外國語にて著はされたる此種著述としては良書と云ふべく、行文も亦獨逸文としては流暢なり。

The Laws of Supply and Dewand

by G.B. Dibbee

千九百十二年倫敦發行　中版二百八十九頁　東京　三圓七十五錢

本書は需用と供給の法則を普通の經濟學書に於けるよりも一層精密に說明せるものなり。著書は其中價値に關する一節を除くの外、悉く自己の獨創の意見なりと主張せりと雖も、著書は

マーシャル說の影響を受けたる所尠からざるが如く見ゆ。されど、在來の普通經濟學書にて餘りに重きを置かざるか、或は又全く無視せることにして、本書の立脚地となれるものあり。是れ價格又は價値と時間との關係なりとす。卽ち今日一圓にて賣却する一個の商品の價値と來月の今日に於て一圓にて賣却する商品の價値との間には多少の相違あり。價値と時間との間に於ける此關係は既に幾多の數理經濟學書に於て說明せられたるものなれど、數理經濟學書は讀者尠きを以て或は本書の所論は多くの讀者に對しては耳新らしきものなるべし。兎に角、此關係を至極平易、通俗的に說明せる本書の功績は之を認めざるべからず。

他に新說の如く見るものあれども、多くは舊說を說明するに新奇の字句を用ひるに過ぎず。著書は頗る自惚強き人と見ゆ然れども若し善意を以て解すれば、本書は新刊理論經濟書中一奇彩を放てるものと謂つべし。單純なる需用供給以上に此二原則の複雜なる現象と關係とを知らんと欲する者は是非共一讀すべし。

行文亦拙ならず、說明方法は通俗的にして、間々新奇の字句を用ゆるも、此等は左程解し難きものに非ず。著者は圖解を二個用ゐたるも、他に數字を多く使用することを避けたり。されば數學的推理を好まざる讀者は此著書を歡迎するなるべし。

Traités et conventions commerciaux

大正二年二月　日本外務省發行　大判七百八十一頁　非賣品

本書は其全名を Recueil International des traites et conventions commerciaux en vigueur du xxe siecle（二十世紀に於て實施せらるゝ各國通商條約及協約集）と云ひ外務省の編纂に係るものなり。載するものは世界各國が千九百年一月以來外國と締契せるか、又は其以前に締契せられたるも、現に實施せらるゝ通商條約及協定並に附帶交換公文等なりとす。此等の公文書は原文の儘なるもあれば、佛譯もあり、又英佛對譯もあり。原文の儘なるは英文又は獨文にして他は皆佛譯を用ひたるが如し。されば、三ケ國の國語を用ゆるものなりと雖も、佛文最も多く、英文之に次ぐ。配列は年代の順序に依りたるも、とは頗る無意味と云はざるべからず。されど卷尾に年代に依る索引と國別に於ける索とを加へたれば、多少其缺點を補ふものと云ふべし。紙質良好、印刷鮮明、校正精密なるを以て、通讀に便なり。兎に角、通商關係の研究者には一好參考書と謂つべし。唯稅表を併載せざりしを憾とするのみ。

Life of David Lloyd George, Vol, I,

by Herbert Du Parcq

大判　二百八頁　千九百十二年　倫敦發行